

# 2026年度 新入社員研修サービスのご案内

2025年12月

NECビジネスインテリジェンス株式会社

# 目次

- 1. 受講者一人ひとりを育成するための新入社員研修サービス [P.3](#)
- 2. 遠隔ライブ研修の運用 [P.12](#)
- 3. 開催スケジュールとコース一覧 [P.14](#)
- 4. カリキュラム一覧 [P.19](#)
- 5. 新入社員専用コースのお申込み方法 [P.45](#)

# 1. 受講者一人ひとりを育成するための 新入社員研修サービス

## 必要なのは3つのスキル

IT人材の不足が深刻になる中、DX推進を支える人材の育成は急務と言えます。  
また従業員一人ひとりにも、自律してキャリア形成する意識と能力(競争力)が求められるようになりました。



**ヒューマン  
スキル**  
＜対人関係能力＞  
Human Skill

対人関係能力の総称です。ヒューマンスキルの土台となるのは、相手の立場を理解し、適切な態度を取るマインド。研修中の生活を含めて育みます。



**テクニカル  
スキル**  
＜職務遂行能力＞  
Technical Skill

技術者として修得すべきスキルの総称です。単なる専門知識ではなく、実務を遂行できる能力を指します。



**コンセプチュアル  
スキル**  
＜概念化能力＞  
Conceptual Skill

ビジネスシーンで必要とされる、問題を合理的に整理・判断する能力の総称です。概念化能力とも言われ、全体を見渡して大枠を理解し、総合的な判断をするために必要なスキルです。

# 受講者一人ひとりを育成するための新入社員研修サービス

新入社員のみなさまのキャリア形成やビジネスリーダーへの道のりを、  
NECマネジメントパートナーが以下の特長を持つ新入社員研修サービスで力強くサポートいたします。

## 特長 1



人材ごとの  
メニューを提供

インフラエンジニア

アプリケーションエンジニア

## 特長 2



コミュニケーション  
強化による  
理解度および  
モチベーション向上

## 特長 3



受講者が  
自ら考え学ぶ力を  
身につける

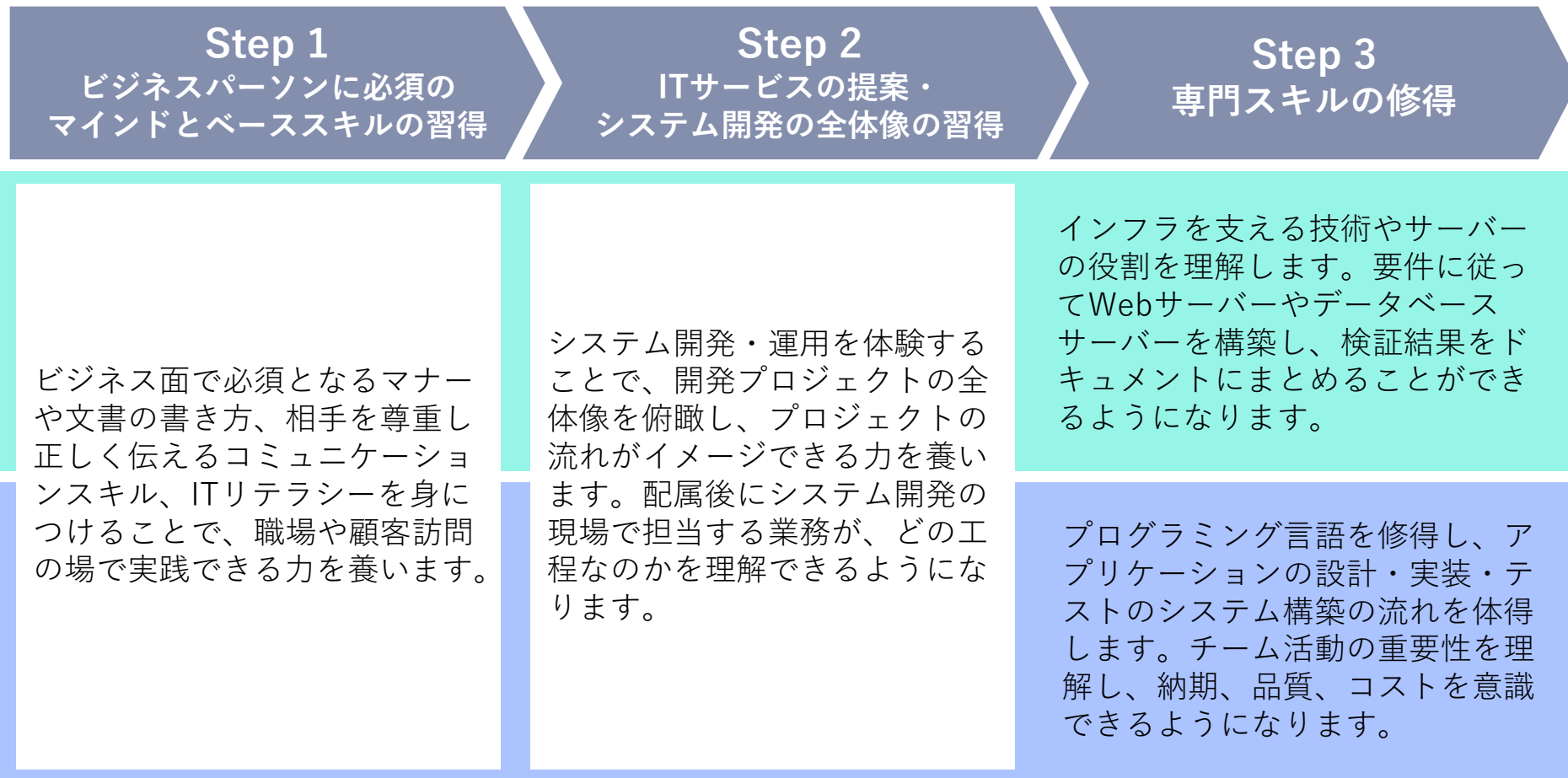
## 特長 4



受講管理システム  
により受講者の成長  
をリアルタイムで  
把握

## 特長 1. 人材像に合わせた研修メニューをご提供

目指す人材像として、インフラエンジニア、アプリケーションエンジニアに合わせた研修をご用意しました。1コース1名様よりご参加いただけますが、目指す人材像に合わせた研修を組み合わせでお選びいただくことで体系的な人材育成ができます。



## 特長2. コミュニケーション強化による理解度およびモチベーションの向上（1）

講師との双方向コミュニケーション、クラスコンダクター・クラスマネージャー・事務局による支援により、研修内容・メンタルの双方を手厚くサポートし、受講者の理解度向上・受講者同士の関係性醸成を促します。

### ■ 講師による双方向コミュニケーション

適正人数でクラス運営を行い、講師が受講者1人ひとりをサポートします。チャットを利用したり受講者の発言を促すことで、受講者の反応を確認しながら状況に合わせた講義を行います。

### ■ コミュニケーションを活性化させるワークの実施

受講者一人ひとりが自発的なアクションをとるための場づくりとして、日々の研修の前にコミュニケーションを活性化させるためのワーク(クラス内での意見交換やプレゼン実践など)を行います。

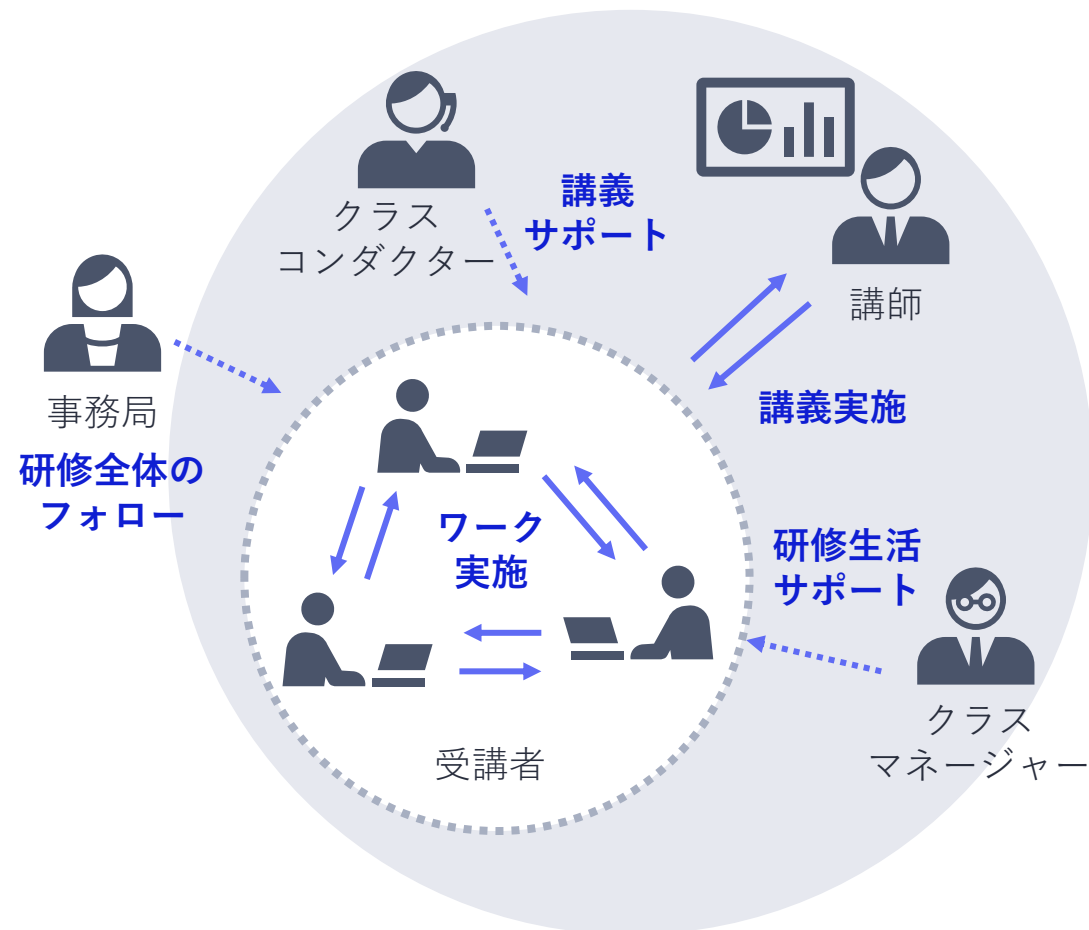
### ■ クラスマネージャー、クラスコンダクター、事務局による支援

講師・クラスマネージャー・クラスコンダクター・事務局の4者で新入社員のみなさまの研修生活を支え成長を支援します。

**クラスマネージャー**・・・研修生活のサポートを行います。受講者との面談や日報を通して受講者の状況を把握し、遠隔環境で不安にならないよう受講者の心のケアを行います。

**クラスコンダクター**・・・講義のサポートとしてワークの補佐や受講者からの質問対応を行い、スムーズな講義進行を支援します。

**事務局**・・・新人研修の運営を行います。関係者と連携し研修全体を通してのフォローを行います。



## 特長2. コミュニケーション強化による理解度およびモチベーションの向上（2）

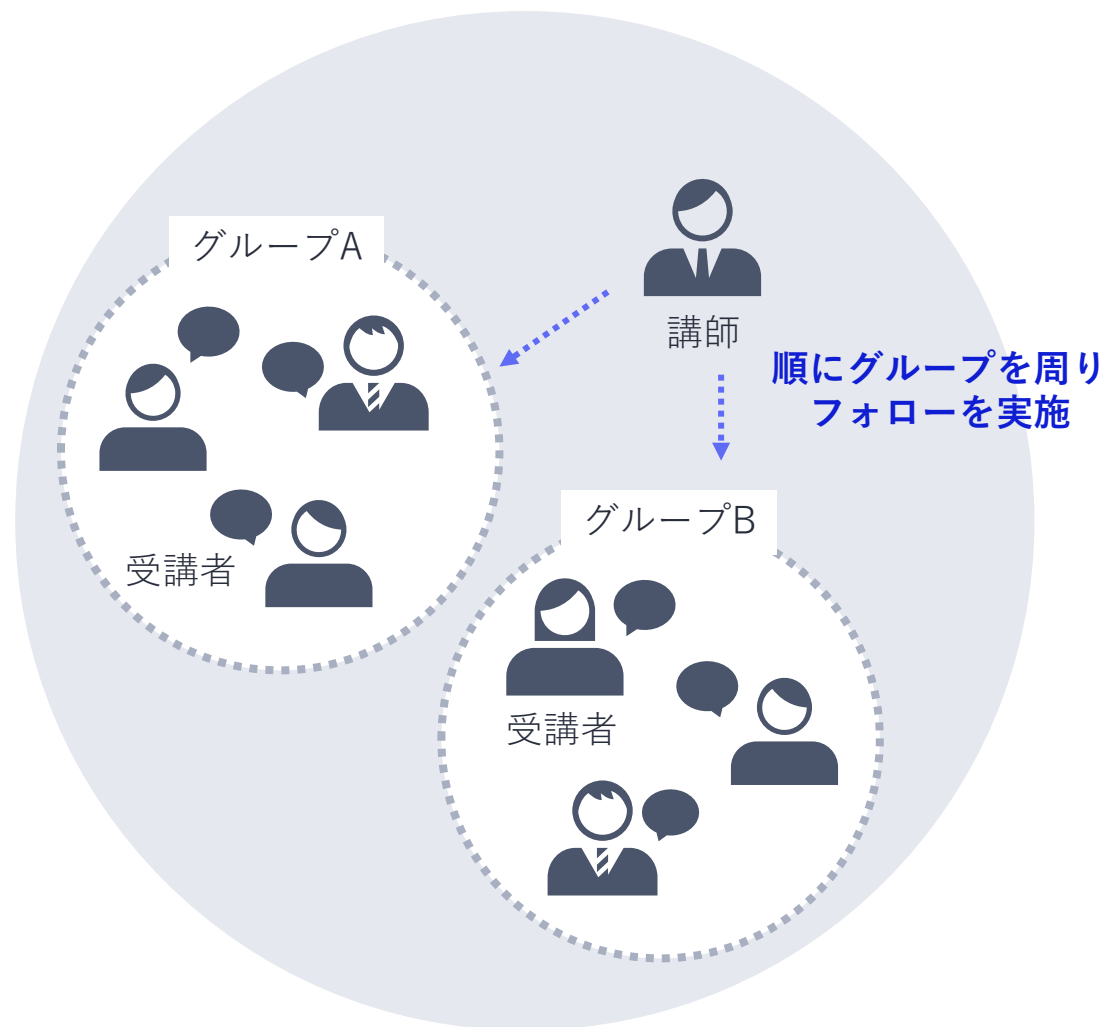
「システム開発入門」「システム構築トレーニング」コースではグループ演習と成果発表会を行います。スキルの定着と配属後の業務での技能発揮を促進します。

### ■ グループ演習

受講者同士でのグループディスカッションを取り入れた演習を実施します。上司役である講師は随時、各グループのミーティングに参加しフォローを行います。

### ■ 成果発表会

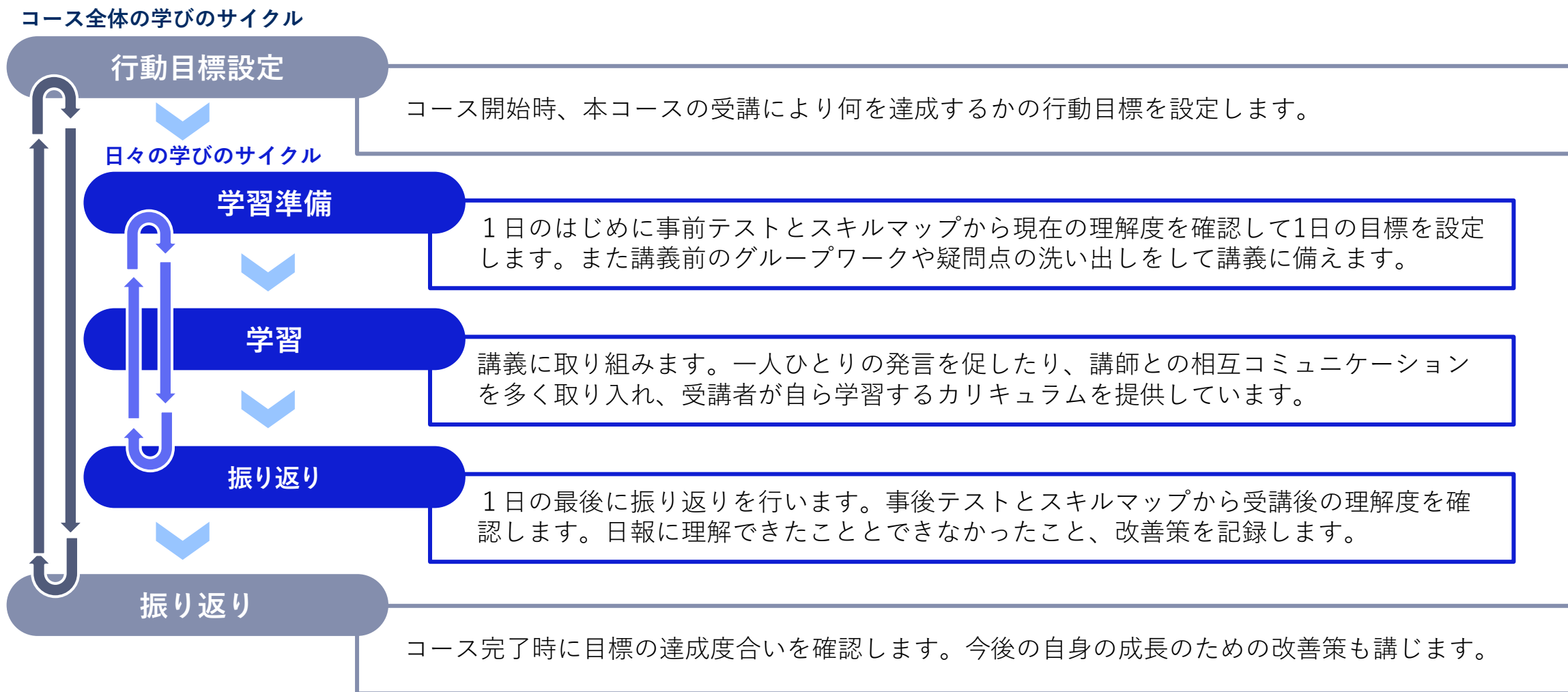
コース最終日には成果発表会を実施し、数日にわたるグループ演習の成果と学びをクラス全体で共有します。リモート環境からのご参観も可能です。是非ご参加ください。





### 特長3. 受講者が自ら考え学ぶ力を身につける

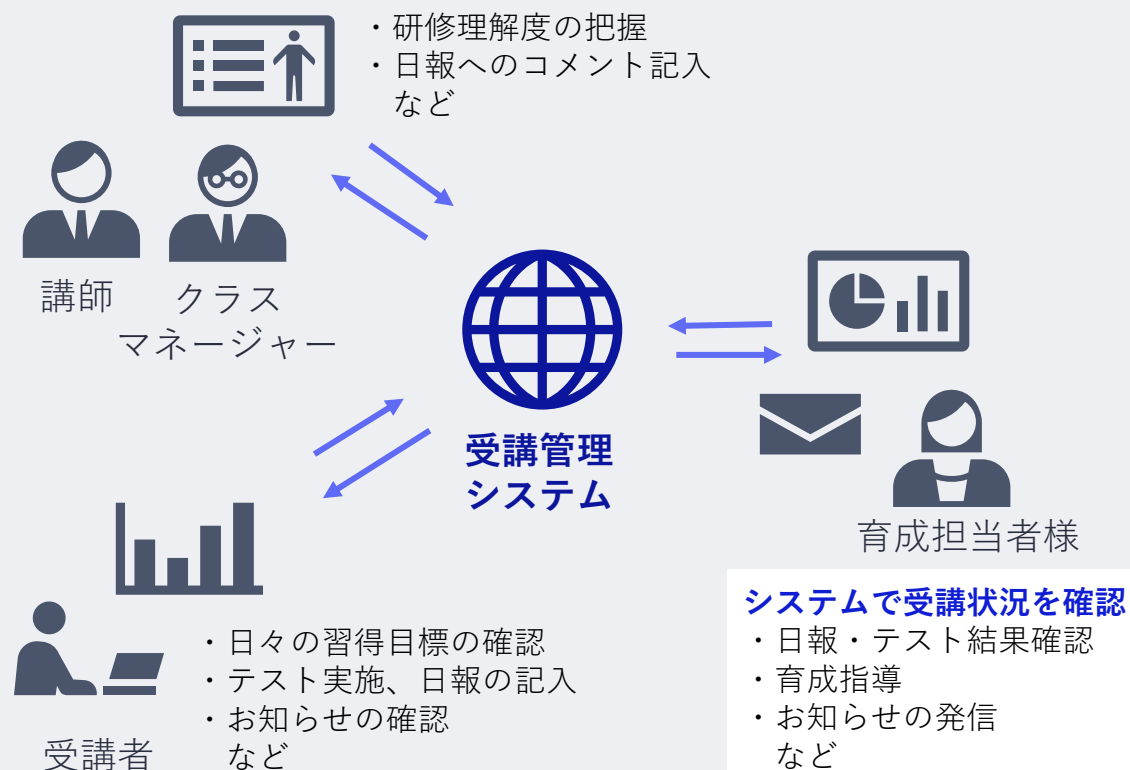
目標設定と振り返りのサイクルを1日単位・コース単位の2種類行います。  
日々振り返り・改善をする癖を付け、成長につなげる力を鍛えます。



## 特長4. 研修期間中の受講者の成長をリアルタイムに把握（1）

受講管理システムにより日々の受講状況をご確認いただくことができます。また育成担当者として遠隔ライブ研修にご参加いただくことで、受講者の実際の学習状況をご覧いただくことも可能です。

### 受講管理システムによる受講状況の確認



### 研修のオブザーブ

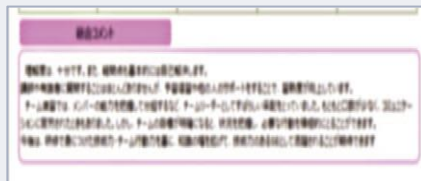


#### 特長4. 研修期間中の受講者の成長をリアルタイムに把握（2）

受講管理システムではクラスマネージャーコメント、テスト結果、受講者の自己診断などから受講者一人ひとりの成長の過程を把握いただくことができます。

## クラスマネージャー総合コメント

クラスマネージャーが面談や日報を通して把握した受講者の理解度や取り組み姿勢を総合的に300字程度でコメントします。



社会人に必要な基礎力を確認します。受講者が自身の行動を振り返り、成長するにはどうすればよいかを考えます。研修期間内に数回振り返りを行うため、受講者の成長の推移をご確認いただけます。

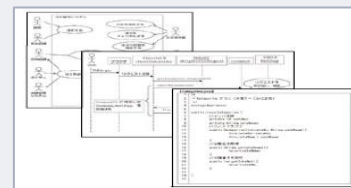


## 社会人基礎力診断(受講者による自己診断)

## テスト結果(事前・事後テスト/修了テスト)

〇〇〇株式会社		〇〇 〇〇 〇〇	
決算書		単位: 万円	
項目	内容	期首	期末
売上	売上	100	80
コスト	コスト (売上比率: 80%)	80	64
粗利益	粗利益 (売上比率: 20%)	20	16
経費	経費 (売上比率: 10%)	10	8
営業利益	営業利益 (売上比率: 10%)	10	8
経費	経費 (営業利益比率: 50%)	5	4
利益	利益 (営業利益比率: 50%)	5	4
経費	経費 (利益比率: 20%)	1	0.8
最終利益	最終利益 (利益比率: 20%)	1	0.8
売上高増減率	売上高増減率	0%	-20%
売上高増減率の内訳	売上高増減率の内訳	0%	-20%

各コースの事前・事後テスト結果を報告します。コースによっては修了テストを実施しています。事前・事後テストでは日々の理解度を確認し、修了テストはコース全体の理解度をご確認いただくことができます。



「システム開発入門」「システム構築トレーニング」では受講者一人ひとりの学習成果や目標達成状況を「個人成果報告書」として育成責任担当の方へご報告いたします。

また受講者が作成した仕様書やソースコード、発表資料などもご覧いただくことができます。

## その他(受講成果物)

## 2. 遠隔ライブ研修の運用

## 研修環境

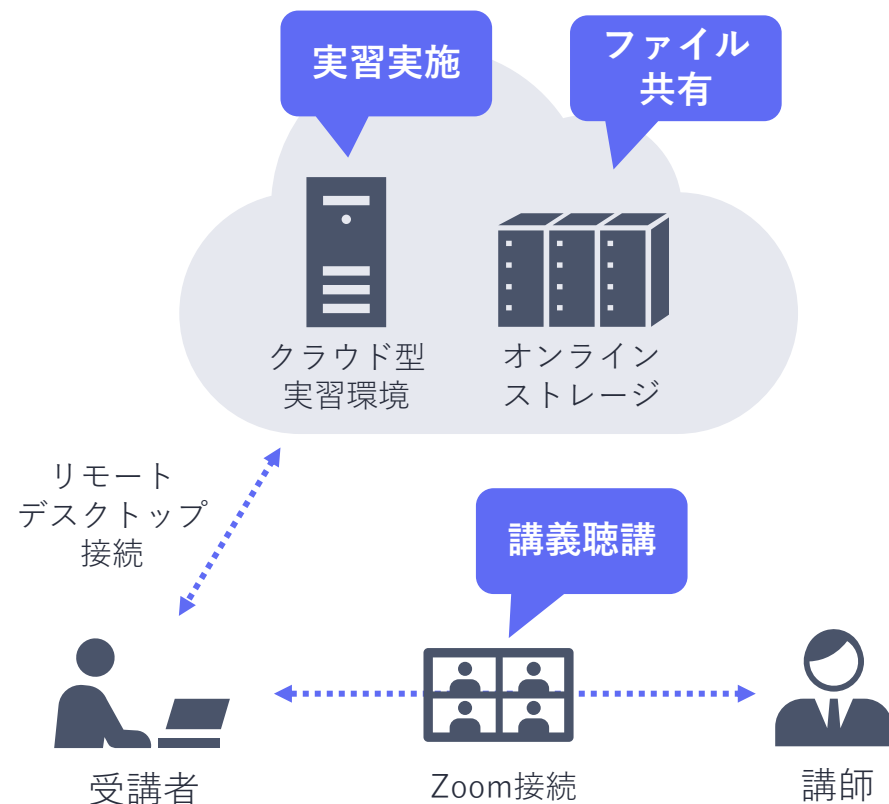
遠隔ライブ研修ではWeb会議ツールZoom、実習環境としてクラウド型実習環境を使用します。研修受講に際し以下のご準備をよろしくお願いいたします。

### ■ 利用環境

- Zoom <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>
- クラウド型実習環境(実習環境として利用)  
<https://www.neclearning.jp/training/cloudlearn.html>
- オンラインストレージ(データ共有に利用)

### ■ 事前準備

- 以下の要件を満たすPCを受講者1人につき1台ご用意ください。
  - Zoomアプリケーションを事前にインストールしている。  
参考：Zoom受講マニュアル  
<https://www.neclearning.jp/training/remotelive/pdf/Zoom.pdf>
  - クラウド実習環境にリモートデスクトップ接続可能である。  
クラウド実習環境への接続テストは以下をご参照ください。  
参考：クラウド環境接続確認手順  
<https://www.neclearning.jp/training/remotelive/pdf/Bastion.pdf>
  - PCのご用意が難しい場合はPCレンタルをご紹介しますのでご相談ください。
- 周囲の音声が気になる場合はヘッドセットをご用意ください。
- 快適なご受講のためにサブディスプレイをご用意いただくことを推奨いたします。



### 3. 開催スケジュールとコース一覧

# スケジュール(インフラエンジニア)

インフラ  
エンジニア

4月	1	水	
	2	木	
	3	金	ビジネスマナー 遠隔
	4	土	
	5	日	
	6	月	ビジネス文書 遠隔
	7	火	IT基礎 遠隔
	8	水	
	9	木	
	10	金	
	11	土	
	12	日	
	13	月	
	14	火	
	15	水	
	16	木	
	17	金	
	18	土	
	19	日	
	20	月	
	21	火	システム開発 入門 遠隔
	22	水	
	23	木	
	24	金	
	25	土	
	26	日	
	27	月	
	28	火	
	29	水	

5月	30	木	システム運用 管理の基礎 遠隔	わかりやすい開発 ドキュメントの書き方 遠隔	アサーティブ コミュニケーション 遠隔	アジャイル開発の 基礎 遠隔
	1	金		ソフトウェア品質入門 遠隔	AI/IoT入門 遠隔	
	2	土				
	3	日				
	4	月				
	5	火				
	6	水				
	7	木	システム構築 トレーニング インフラ技術編 遠隔			
	8	金				
	9	土				
	10	日				
	11	月				
	12	火				
	13	水				
	14	木				
	15	金				
	16	土				
	17	日				
	18	月				
	19	火				
	20	水				
	21	木				
	22	金				
	23	土				
	24	日				
	25	月				
	26	火				
	27	水				
	28	木				
	29	金				
	30	土				

# スケジュール(アプリケーションエンジニア)

1	水	
2	木	
3	金	ビジネスマナー 遠隔
4	土	
5	日	
6	月	ビジネス文書 遠隔
7	火	IT基礎 遠隔
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	システム開発 入門 遠隔
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	

30	木	システム運用 管理の基礎 遠隔	わかりやすい開発 ドキュメントの書き方 遠隔	アサーティブ コミュニケーション 遠隔	アジャイル開発の 基礎 遠隔
1	金		ソフトウェア品質入門 遠隔	AI/IoT入門 遠隔	アルゴリズム入門 遠隔
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木	システム構築 トレーニング Java編 遠隔	システム構築 トレーニング C#編 遠隔	システム構築 トレーニング VB.NET編 遠隔	
8	金				
9	土				
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土				
17	日				
18	月				
19	火				
20	水				
21	木				
22	金				
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				
29	金				
30	土				



## コース一覧(インフラエンジニア)

コース名	スケジュール	価格（税抜）	詳細
新入社員のための ビジネスマナー – 社会人としての心構えと基本動作 –	2026/4/3(金)	34,000	<a href="#">P.20</a>
新入社員のための ビジネス文書 – 文章力強化 –	2026/4/6(月)	34,000	<a href="#">P.21</a>
新入社員のための IT基礎 – DX人材をめざす心構えと技術要素の基礎 –	2026/4/7(火)～2026/4/20(月)	300,000	<a href="#">P.22</a>
新入社員のための システム開発入門 – システム開発の進め方と心構えを学ぶ –	2026/4/21(火)～2026/4/28(火)	180,000	<a href="#">P.24</a>
新入社員のための システム運用管理の基礎 – シミュレーションを通して学ぶ運用管理プロセスとその重要性 –	2026/4/30(木)～2026/5/1(金)	60,000	<a href="#">P.26</a>
新入社員のための わかりやすい開発ドキュメントの書き方	2026/4/30(木)	30,000	<a href="#">P.27</a>
新入社員のための アサーティブコミュニケーション – 相手を尊重しつつ自分の思いを伝える –	2026/4/30(木)	34,000	<a href="#">P.28</a>
新入社員のための 明日から実践できるアジャイル開発の基礎	2026/4/30(木)	45,000	<a href="#">P.29</a>
新入社員のための ソフトウェア品質入門	2026/5/1(金)	30,000	<a href="#">P.31</a>
新入社員のための AI/IoT入門	2026/5/1(金)	30,000	<a href="#">P.32</a>
新入社員のための システム構築トレーニング インフラ技術編 – 仮想化とクラウドで学ぶシステム基盤技術要素 –	2026/5/7(木)～2026/5/20(水)	300,000	<a href="#">P.34</a>

## コース一覧(アプリケーションエンジニア)

コース名	スケジュール	価格（税抜）	詳細
新入社員のための ビジネスマナー – 社会人としての心構えと基本動作 –	2026/4/3(金)	34,000	<a href="#">P.20</a>
新入社員のための ビジネス文書 – 文章力強化 –	2026/4/6(月)	34,000	<a href="#">P.21</a>
新入社員のための IT基礎 – DX人材をめざす心構えと技術要素の基礎 –	2026/4/7(火)～2026/4/20(月)	300,000	<a href="#">P.22</a>
新入社員のための システム開発入門 – システム開発の進め方と心構えを学ぶ –	2026/4/21(火)～2026/4/28(火)	180,000	<a href="#">P.24</a>
新入社員のための システム運用管理の基礎 – シミュレーションを通して学ぶ運用管理プロセスとその重要性 –	2026/4/30(木)～2026/5/1(金)	60,000	<a href="#">P.26</a>
新入社員のための わかりやすい開発ドキュメントの書き方	2026/4/30(木)	30,000	<a href="#">P.27</a>
新入社員のための アサーティブコミュニケーション – 相手を尊重しつつ自分の思いを伝える –	2026/4/30(木)	34,000	<a href="#">P.28</a>
新入社員のための 明日から実践できるアジャイル開発の基礎	2026/4/30(木)	45,000	<a href="#">P.29</a>
新入社員のための ソフトウェア品質入門	2026/5/1(金)	30,000	<a href="#">P.31</a>
新入社員のための AI/IoT入門	2026/5/1(金)	30,000	<a href="#">P.32</a>
新入社員のための アルゴリズム入門	2026/5/1(金)	30,000	<a href="#">P.33</a>
新入社員のための システム構築トレーニング Java編 – プログラミングの基本から開発体験まで –	2026/5/7(木)～2026/5/29(金)	544,000	<a href="#">P.36</a>
新入社員のための システム構築トレーニング C#編 – プログラミングの基本から開発体験まで –	2026/5/7(木)～2026/5/29(金)	544,000	<a href="#">P.39</a>
新入社員のための システム構築トレーニング VB.NET編 – プログラミングの基本から開発体験まで –	2026/5/7(木)～2026/5/29(金)	544,000	<a href="#">P.42</a>

## 4. カリキュラム一覧

# 新入社員のための ビジネスマナー – 社会人としての心構えと基本動作 –

## ■ 概要

相手の立場に立って考え、相手を大切にするビジネスマナーの基本を身につけます。  
ロールプレイを通して体得し、職場で実践できるマナーを修得します。

**コースコード**

FG955

**学習形態と割合**

講義：20% 個人演習：60% グループ演習：20%

**開催日程**

4/3(金) 【1日間】

**受講料**

37,400円(税込) / 34,000円(税抜)

## ■ 到達目標

・社会人として必要な、基本的なマナーを職場で実践できる。

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	<ol style="list-style-type: none"><li>ビジネスマナーの重要性<ul style="list-style-type: none"><li>・ビジネスマナーの重要性</li></ul></li><li>配属初日のシミュレーション<ul style="list-style-type: none"><li>・身だしなみ</li><li>・あいさつ</li><li>・自己紹介</li></ul></li><li>職場での振る舞いシミュレーション<ul style="list-style-type: none"><li>・敬語</li><li>・会議に出席</li><li>・電話応対</li></ul></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>他社訪問・来客シミュレーション<ul style="list-style-type: none"><li>・アポイントメント</li><li>・訪問のステップ</li><li>・来客を迎える</li></ul></li><li>配属に向けての決意表明<ul style="list-style-type: none"><li>・配属に向けての決意表明</li></ul></li></ol>

[お申込みはこちら](#)

# 新入社員のための ビジネス文書 – 文章力強化 –

## ■ 概要

ドキュメンテーションの基本やビジネス文書の役割を理解し、文書の添削や作成演習を通して、わかりやすい文章の書き方を身につけます。	コースコード	FG956
	学習形態と割合	講義50% 個人演習50%
	開催日程	4/6(月) 【1日間】
	受講料	37,400円(税込) / 34,000円(税抜)

## ■ 到達目標

- ドキュメンテーションの基本を説明できる。
- ビジネス文章の基本が説明できる。
- わかりやすい文章を作成できる。

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
<b>1日目</b>	1. ビジネス文書の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス文書とは</li> <li>ビジネス文書の目的</li> <li>読み手を考慮したビジネス文書</li> <li>ビジネス文書のひな形</li> <li>ビジネス文書作成の基本</li> <li>ビジネス文書作成の手順</li> </ul> 2. 文章表現の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>文章表現</li> <li>箇条書き</li> <li>注意が必要な表現</li> </ul>	3. 文書の形式 <ul style="list-style-type: none"> <li>文書のひな形</li> <li>失礼のない記載 – 社名</li> <li>電子メールの構成要素</li> <li>電子メール使用における注意点</li> <li>ビジネス文書作成の注意点</li> </ul> 4. 文書作成、添削演習 <ul style="list-style-type: none"> <li>伝言メモ作成</li> <li>通知文の添削</li> <li>議事録作成</li> <li>電子メール</li> </ul>

お申込みはこちら

# 新入社員のための IT基礎 – DX人材をめざす心構えと技術要素の基礎 –

## ■ 概要

ITエンジニアとして、これから学習するIT技術の利用イメージと配属後の一般的な職場の活動を紹介して意欲を高めた後、技術者として身につけておくべき、コンピュータやネットワーク、データベース、DX、クラウドなどのIT基本スキルを、マシン実習やグループ演習を通して学習します。また、研修期間を通して社会人としての意識改革を促します。アクティブ・ラーニングにより、自ら学ぶ姿勢を促し、配属後も主体的に動こうとする姿勢を身につけます。

コースコード	FG96E		
学習形態と割合	はじめの一步	講義：50%	グループ演習：50%
	コンピュータ	講義：70%	グループ演習：30%
	ネットワーク	講義：70%	個人演習：30%
	セキュリティ	講義：80%	個人演習：20%
	クラウド	講義：80%	個人演習：20%
	データベース	講義：60%	個人演習：40%
	DXリテラシー	講義：60%	グループ演習：40%
開催日程	4/7(火)～4/20(月) 【10日間】		
受講料	330,000円(税込) / 300,000円(税抜)		

## ■ 到達目標

- ITエンジニアが身につけるべき事柄と心構えを理解することができる。
- コンピュータを構成するハードウェアの仕組みを説明できる。
- OSの役割と代表的な管理機能を挙げることができる。
- システムインフラを構成する代表的な要素を説明できる。
- ネットワークに関する基本用語が説明できる。
- 実習環境を通してネットワークの簡単な仕組みがイメージできる。
- PC(Windows)に対し、簡単なネットワーク設定／確認方法を説明できる。
- 情報セキュリティの重要性を説明できる。
- 様々な脅威に対する対策について、その概要を説明できる。
- クラウドの利点・留意点を説明できる。
- クラウドコンピューティングレイヤー(SaaS,PaaS,IaaS)とは何かを説明できる。
- クラウドサービスの利用形態(パブリック、プライベート、ハイブリッド、コミュニティ)を説明できる。
- クラウドの仕組みを説明できる。
- データベースの役割を理解し、DBMSの機能を複数挙げることができる。
- 基本的なSQL文を記述できる。
- DXにおける二つの視点について説明できる。
- DXのフェーズについて説明できる。
- DXのシステムを実現するための基本的な流れを説明できる。
- DXを実現するための技術には何があるかを説明できる。

お申込みはこちら

# 新入社員のための IT基礎 – DX人材をめざす心構えと技術要素の基礎 –

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30		9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	1. ITエンジニアはじめの一步 ・ウォーミングアップ ・システム全体像 ・IT技術の適用事例	1. ITエンジニアはじめの一步 ・仮想化、クラウド技術 ・PJ活動の秘訣 ・IT専門家として ・学びの心得	6日目	5. データベースの基礎 ・ファイルとデータベース	5. データベースの基礎 ・データベース管理システム
2日目	1. コンピュータの基礎 ・ITの基本事項 ・コンピューターの基本事項 ・ハードウェアの基本事項	1. コンピュータの基礎 ・オペレーティングシステムの基本事項 ・アプリケーションの基本事項 ・コンピューターシステムの基本事項 ・システムインフラの基本事項	7日目	5. データベースの基礎 ・データベースシステムの構成要素 ・データベース設計（正規化）	5. データベースの基礎 ・SQLの概要 ・SQLによる検索（基本）
3日目	2. ネットワークの基礎 ・身近なネットワーク ・ネットワークの利用	2. ネットワークの基礎 ・ネットワーク同士の接続 ・トラブルシューティング	8日目	5. データベースの基礎 ・SQLによる検索（基本） ・SQLによる検索（表の結合）	5. データベースの基礎 ・SQLによる検索（副問い合わせ） ・データの変更とトランザクション ・データベースの定義
4日目	3. セキュリティの基礎 ・情報セキュリティの重要性 ・システムを安全に利用する	3. セキュリティの基礎 ・サイバー攻撃から身を守る ・暗号化技術を利用する	9日目	6. DXリテラシー ・DXについて ・DXの実現フェーズ ・DXシステムの実現方法 ・DXを支えるテクノロジー	6. DXリテラシー ・DXを支えるテクノロジー ・DX事例 ・DX体験演習
5日目	4. クラウド基礎 ・クラウドとは ・クラウドコンピューティングレイヤーとは	4. クラウド基礎 ・クラウドサービスの利用形態 ・クラウドの仕組み	10日目	6. DXリテラシー ・DX体験演習 7. 復習ワーク	7. 復習ワーク 8. 修了テスト

# 新入社員のための システム開発入門

## ーシステム開発の進め方と心構えを学ぶー

インフラ  
エンジニア

アプリケーション  
エンジニア

### ■ 概要

システム開発の全体像をつかみ、システム開発業務の概要および各フェーズの役割、重要性を理解します。また、ケーススタディ形式の演習を通して、開発プロジェクトを疑似体験します。さらに、組織における個人の役割やIT エンジニアとしてのあるべき姿、企業人としての心構えを理解します。

コースコード

FG95C

学習形態と割合

講義40% グループ演習60%

開催日程

4/21(火)～4/28(火)【6日間】

受講料

198,000円(税込) / 180,000円(税抜)

### ■ 到達目標

- システム開発プロセスの種類と特徴を説明できる。
- プロジェクト計画書を作成し、QCDの予実管理ができる。
- ビジネスマナーを実践したインタビューができる。
- インタビューでの効果的なユーザー要求の抽出方法を説明できる。
- 議事録を作成できる。
- 問題/課題の解決策を盛り込んだ業務要求定義方法を説明できる。
- レビューによる品質評価方法を説明できる。
- 利用者を意識し、システムとして統一感の取れたユーザーインターフェース設計ができる。
- 機能で扱うデータ項目を定義できる
- 性能や信頼性要求を実現するための内部設計の留意点を説明できる。
- 保守性や生産性を意識したプログラム設計のポイントを説明できる。
- テストの特徴と対応する開発工程を説明できる。
- 成果発表を通して、成果物の作成ポイントをユーザーに分かりやすく伝えることができる。
- プロジェクト完了報告書作成を通して、システム開発の流れと工程間のつながりを確認し、各工程が品質に与える影響を説明できる。
- 成果を振り返り、今後システム開発に携わる上で心がけるべき点を整理し、今後の業務に活用できる。

お申込みはこちら



## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30		9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	1. システム開発の概要 2. 標準化と開発工程 3. プロジェクトマネジメント	4. 品質管理 5. 要件定義 グループ演習：プロジェクトの立ち上げ グループ演習：インタビュー準備	4日目	6. 外部設計 グループ演習： 機能分析／ユーザインタフェース設計 (機能仕様書・画面遷移図・画面レイアウト仕様書作成) グループ演習：レビュー	6. 外部設計 グループ演習：論理データ設計 (データ項目の抽出)
2日目	5. 要件定義 グループ演習：インタビュー(実施) グループ演習：インタビュー(議事録作成)	5. 要件定義 グループ演習：問題・課題の整理 グループ演習：業務分析 (業務フロー図、業務仕様書作成)	5日目	6. 外部設計 グループ演習：論理データ設計 (正規化・ER図作成) グループ演習：レビュー	7. 内部設計 グループ演習：テーブル仕様定義 (テーブル一覧・テーブル仕様書作成) グループ演習：レビュー
3日目	5. 要件定義 グループ演習：業務分析 (業務フロー図、業務仕様書作成) グループ演習：レビュー	6. 外部設計 グループ演習： 機能分析／ユーザインタフェース設計 (機能仕様書・画面遷移図・画面レイアウト仕様書作成)	6日目	8. 製造とテスト 9. 運用・保守 10. 成果発表	10. 成果発表

# 新入社員のための システム運用管理の基礎

## ー シミュレーションを通して学ぶ運用管理プロセスとその重要性 ー

インフラ  
エンジニア

アプリケーション  
エンジニア

### ■ 概要

「システム運用とは何か?」、「なぜ運用管理が必要なのか?」といったシステム運用に関する基本的な考え方や運用管理の重要性を学習します。また、システム運用に必要な活動を講義・演習を通して学習することにより、主な運用活動の特徴について説明できることを目指します。

コースコード

FG938

学習形態と割合

講義50% 個人演習20% グループ演習30%

開催日程

4/30(木)~5/1(金)【2日間】

受講料

66,000円(税込) / 60,000円(税抜)

### ■ 到達目標

・システム運用管理に必要な活動を説明できる。

・主な運用活動の特徴について説明できる。

### ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	<ol style="list-style-type: none"><li>システム運用管理とは<ul style="list-style-type: none"><li>演習：身近な運用活動を考える</li></ul></li><li>オペレーション管理<ul style="list-style-type: none"><li>演習1：身近な運用管理を考える</li><li>演習2：オペレーション管理演習 報告の重要性を理解する 作業結果の確認の重要性を理解する</li></ul></li><li>障害管理<ul style="list-style-type: none"><li>演習1：身近な障害を考える</li></ul></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>障害管理<ul style="list-style-type: none"><li>演習2：障害管理演習 役割分担（ヘルプデスク、エスカレーション等）の重要性を理解する 記録の重要性を理解する</li></ul></li><li>構成管理／保守<ul style="list-style-type: none"><li>演習1：身近な資源の管理について考える</li></ul></li></ol>
2日目	<ol style="list-style-type: none"><li>構成管理／保守<ul style="list-style-type: none"><li>演習2：構成管理演習 構成管理の重要性、および構成管理の代表的なドキュメントを理解する</li></ul></li><li>サービスレベル管理<ul style="list-style-type: none"><li>演習：サービスレベル管理の重要性を理解する</li></ul></li><li>性能管理<ul style="list-style-type: none"><li>演習：性能管理の考え方を理解する</li></ul></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>セキュリティ管理</li><li>リスク管理<ul style="list-style-type: none"><li>演習：運用活動のリスクを考える</li></ul></li><li>外部サービス管理</li><li>システム運用計画<ul style="list-style-type: none"><li>演習：運用計画の概要を理解する</li></ul></li></ol>

お申込みはこちら

# 新入社員のための わかりやすい開発ドキュメントの書き方

## ■ 概要

読み手が誤解なく理解できるシステム開発のドキュメント(仕様書)の作成手順や、論理的な文章構造の組み立て方、わかりやすい文章表現、および図表の特徴を修得します。また、正確で具体的な文章表現について、悪い例と修正例を比較しながら紹介し、演習をとおして、文章の書き方を修得します。

### コースコード

FG930

### 学習形態と割合

講義80% 個人ワーク15% グループ演習5%

### 開催日程

4/30(木) 【1日間】

### 受講料

33,000円(税込) / 30,000円(税抜)

## ■ 到達目標

- 各フェーズの開発ドキュメントの違いを説明できる。
- ドキュメントの“書き方のポイント”や“表現方法のポイント”を修得することで、業務に活用できる。
- 曖昧な表現を防止するドキュメントの書き方を実践できる。

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	<ol style="list-style-type: none"><li>1. システム開発のドキュメントとは<ul style="list-style-type: none"><li>・ 開発ドキュメントの特徴</li></ul></li><li>2. 開発ドキュメントの目的と役割<ul style="list-style-type: none"><li>・ 開発ドキュメントの目的</li><li>・ 主な開発ドキュメント</li></ul></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>3. 開発ドキュメントの書き方<ul style="list-style-type: none"><li>・ 開発ドキュメントの作成準備</li><li>・ プランニング</li><li>・ 構造設計</li><li>・ 執筆</li><li>・ 図解表現</li><li>・ 開発ドキュメントの記述の心得</li></ul></li><li>4. 開発ドキュメントのレビュー<ul style="list-style-type: none"><li>・ 推敲とレビュー</li></ul></li></ol>

[お申込みはこちら](#)

# 新入社員のための アサーティブコミュニケーション ー 相手を尊重しつつ自分の思いを伝える ー

インフラ  
エンジニア

アプリケーション  
エンジニア

## ■ 概要

自分の感情、思考、行動を一方的に押し通すのではなく、相手の気持ちや立場を尊重しながら、素直に誠実に対等に伝えるコミュニケーションの方法をロールプレイで体験しながら修得します。

コースコード

FG958

学習形態と割合

講義40% 個人演習60%

開催日程

4/30(木) 【1日間】

受講料

37,400円(税込) / 34,000円(税抜)

## ■ 到達目標

- ・ アサーションについての知識を得ると共に、個人ワーク・グループワークを通して必要に応じてアサーションができるようになる

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	<ol style="list-style-type: none"><li>1. アサーションとは<ul style="list-style-type: none"><li>・ アサーションとは</li><li>・ アサーション度合いを把握する</li></ul></li><li>2. アサーションの基本<ul style="list-style-type: none"><li>・ アサーションの基本</li><li>・ 自己表現できなかったときを振り返る</li></ul></li><li>3. 自己表現できない理由<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自己表現できなかった際の自分のパターンを把握</li></ul></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>4. アサーションのスキル<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分の気持ち・考えを確かめる</li><li>・ 「私メッセージ」とは何かを理解する</li><li>・ 相手の状況を観察、把握する</li><li>・ 準備する</li><li>・ 実行する</li><li>・ ノンバーバルスキル</li><li>・ ほめる、ほめられたときの対応</li></ul></li><li>5. 傾聴のスキル<ul style="list-style-type: none"><li>・ 傾聴のスキル</li></ul></li><li>6. アサーションを実践する<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学んだことを日常で活用できるように実践する</li><li>・ アサーションのスキル（DESC 法）</li><li>・ 報連相に応用</li></ul></li></ol>

お申込みはこちら

# 新入社員のための 明日から実践できるアジャイル開発の基礎

## ■ 概要

代表的なアジャイル開発手法のスクラムをベースに、アジャイル開発の基本概念とメリットについて学習します。ウォーターフォールをはじめとした従来の開発手法との違いを学習します。

**コースコード**

FG95D

**学習形態と割合**

講義：65%、グループ演習：35%

**開催日程**

4/30(木)【1日間】

**受講料**

49,500円(税込) / 45,000円(税抜)

## ■ 到達目標

- 他者にアジャイル開発の基本概念を説明できる。
- 他者にウォーターフォール開発とアジャイル開発の違いを説明できる。
- アジャイル開発のメリットを理解して現場で活用できる。

[お申込みはこちら](#)

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>なぜアジャイルなのか <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜアジャイルに取り組んだのか</li> <li>どう変わったのか</li> <li>演習：研修で持ち帰りたいこと</li> <li>その他の世界では</li> </ul> </li> <li>アジャイル・スクラム概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>アジャイル開発概要（アジャイルマニフェスト）</li> <li>スクラム概要</li> <li>演習：トランプゲーム</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>自己組織化 <ul style="list-style-type: none"> <li>自己組織化とは</li> <li>スクラムの考え方</li> </ul> </li> <li>プロダクトの価値を追求する <ul style="list-style-type: none"> <li>いま、ソフトウェア開発の求められているのは</li> <li>プロダクトの価値を高めるには</li> <li>プロダクトバックログ</li> <li>ユーザーストーリー</li> </ul> </li> <li>アジャイルな見積と計画づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>見積、計画とは</li> <li>どうやって見積りを行うか</li> <li>演習：プランニングポーカー</li> <li>3つの計画</li> <li>演習：朝会</li> </ul> </li> <li>反復して育てる（スプリント） <ul style="list-style-type: none"> <li>反復とは</li> <li>スプリント</li> <li>スプリントデモ</li> <li>タスクボード（見える化）</li> </ul> </li> <li>チームの成長（ふりかえり） <ul style="list-style-type: none"> <li>ふりかえりとは</li> <li>どのようにふりかえりをするのか</li> <li>何についてふりかえりをするのか</li> <li>演習：研修のふりかえり</li> <li>ふりかえりのアンチパターン</li> <li>ふりかえりの効果</li> </ul> </li> <li>研修のまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ</li> </ul> </li> </ol>

# 新入社員のための ソフトウェア品質入門

## ■ 概要

ソフトウェアにおける品質管理および品質保証のポイントを学習します。さらに、演習を通して、品質改善の大切さを体感します。

**コースコード**

FG935

**学習形態と割合**

講義75% 個人演習10% グループ演習15%

**開催日程**

5/1(金)【1日間】

**受講料**

33,000円(税込) / 30,000円(税抜)

## ■ 到達目標

- 品質とは何かを説明できる。
- 品質管理と品質保証のポイントを説明できる。

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 品質とは<ul style="list-style-type: none"><li>・ 品質の考え方</li><li>・ 顧客満足を得るには</li></ul></li><li>2. 品質を高める技法<ul style="list-style-type: none"><li>・ 要求定義と要件定義</li><li>・ レビュー</li><li>・ テスト</li></ul></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>3. 品質をマネジメントする<ul style="list-style-type: none"><li>・ 組織としての取り組み</li><li>・ プロジェクトとしての取り組み</li></ul></li><li>4. QCサークル活動体験演習</li></ol>

[お申込みはこちら](#)

# 新入社員のための AI/IoT入門

## ■ 概要

IoT、AIについて、概要、活用事例、システム構成や関連技術（IoTデバイス、ディープラーニング等）などの基礎知識を理解し、グループ演習を通じて、ビッグデータ、IoT、AIの活用イメージをつかみます。

### コースコード

FG960

### 学習形態と割合

講義：70%、グループ演習：30%

### 開催日程

5/1(金) 【1日間】

### 受講料

33,000円(税込) / 30,000円(税抜)

## ■ 到達目標

- IoT、AIの概要を説明できる。
- IoT、AIの活用方法を説明できる。
- IoT、AIの関連技術を説明できる。

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	<ol style="list-style-type: none"><li>はじめに<ul style="list-style-type: none"><li>IoT/ビッグデータ/AIの関連性</li></ul></li><li>IoT概説<ul style="list-style-type: none"><li>IoTの基礎知識</li><li>IoTのアーキテクチャー</li><li>IoTデバイス</li><li>IoTサービス</li><li>IoTにおけるセキュリティ</li><li>IoTサービスのこれからと留意事項</li></ul></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>AI概説<ul style="list-style-type: none"><li>AIの基礎知識</li><li>AIの歴史</li><li>機械学習とディープラーニング</li><li>AIの活用事例</li><li>総合演習：AIを用いたWebサービスの改善を考える</li><li>AIのこれからと留意事項</li></ul></li><li>最後に<ul style="list-style-type: none"><li>AIとIoTの複合事例</li><li>総合演習：IoT/AIを用いたサービスを考える</li></ul></li></ol>

[お申込みはこちら](#)



# 新入社員のための アルゴリズム入門

## ■ 概要

コンピュータ初心者の方を対象に、アルゴリズムの必要性や基本的なアルゴリズムの考え方を修得します。	コースコード	FG95F
	学習形態と割合	講義：50% 個人演習：50%
	開催日程	5/1(金) 【1日間】
	受講料	33,000円(税込) / 30,000円(税抜)

## ■ 到達目標

- アルゴリズムがなぜ必要かを説明できる。
- 基本的なデータ構造について説明できる。
- 基本制御構造をもつ簡単なアルゴリズムをフローチャートを使って表現できる。

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	1. アルゴリズムの基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムとは</li> <li>・アルゴリズムの必要性</li> <li>・よいアルゴリズムとは</li> <li>・アルゴリズムの表現方法</li> </ul> 2. データ構造の基礎 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ構造の分類</li> <li>・値の交換 ー変数とはー</li> <li>・配列</li> <li>・リスト</li> <li>・スタック</li> <li>・キュー</li> </ul>	3. 基本制御構造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの基本制御構造</li> <li>・順次</li> <li>・選択</li> <li>・繰り返し</li> </ul> 4. 演習問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フローチャート作成演習</li> </ul>

お申込みはこちら

# 新入社員のための システム構築トレーニング インフラ技術編 －仮想化とクラウドで学ぶシステム基盤技術要素－

## ■ 概要

インフラエンジニアとして必要なITやシステムインフラの基礎を学習します。実機や仮想化環境に加え、クラウドを活用した構築体験を通して、インフラを支える技術や各種サーバーの役割と設定を学びます。総合演習では、各種サーバーを自分たちで構築し、動作確認結果等をドキュメントにまとめ、構築・設定作業の内容を報告するスキルを修得します。

コースコード	FG931
学習形態と割合	講義：40％ 個人演習：40％ グループ演習：20％
開催日程	5/7(木)～5/20(水)【10日間】
受講料	330,000円(税込) / 300,000円(税抜)

## ■ 到達目標

- ・システムインフラを構成する代表的な要素を説明できる。
- ・Hyper-Vを使用して、基本的な仮想化プラットフォームを構築できる。
- ・Windows Serverを使用してDHCP,DNS,Webサーバーを構築できる。
- ・クラウド上に標準的な仮想サーバーをセットアップできる。
- ・構築体験を通してネットワークの簡単な仕組みを説明できる。
- ・Windows Serverを使用してファイルの共有ができる。
- ・Webアプリケーションシステムの概要を説明できる。
- ・構築したサーバーの設定情報について、報告資料を作成できる。

お申込みはこちら

## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
1日目	1. システムインフラの基礎 ・システムインフラ ・ネットワークインフラ	2. サーバー仮想化の基礎 ・サーバー仮想化とは ・仮想化環境の構築
2日目	2. サーバー仮想化の基礎 ・仮想化環境の構築 ・仮想マシンの構築と管理	3. サーバー構築の基礎 ・サーバーとは ・ユーザーとグループの管理 ・ファイルサーバーの構築
3日目	3. サーバー構築の基礎 ・ファイルサーバーの構築	3. サーバー構築の基礎 ・DHCPサーバーの構築
4日目	3. サーバー構築の基礎 ・DNSサーバーの構築	3. サーバー構築の基礎 ・Webサーバーの構築
5日目	3. サーバー構築の基礎 ・DBサーバー（SQL Server）の構築	3. サーバー構築の基礎 ・DBサーバーの連携 ・Webアプリケーション システム構築体験
6日目	4. クラウドの基礎 ・クラウドの概要 ・Microsoft Azureの基本操作	4. クラウドの基礎 ・Microsoft Azure 仮想マシンサービス

	9:30-12:30	13:30-17:30
7日目	5. 総合演習（個人演習） ・課題の説明 ・サーバー仮想化環境の構築 ・ファイルサーバーの構築 ・DNSサーバーの構築 ・Webサーバーの構築 ・DHCPサーバーの構築	5. 総合演習（個人演習） ・サーバー仮想化環境の構築 ・ファイルサーバーの構築 ・DNSサーバーの構築 ・Webサーバーの構築 ・DHCPサーバーの構築
8日目	5. 総合演習（個人演習） ・サーバー仮想化環境の構築 ・ファイルサーバーの構築 ・DNSサーバーの構築 ・Webサーバーの構築 ・DHCPサーバーの構築	5. 総合演習（個人、グループ演習） ・グループ課題の説明 ・サーバー仮想化環境の構築 ・ファイルサーバーの構築 ・DNSサーバーの構築 ・Webサーバーの構築 ・DHCPサーバーの構築
9日目	5. 総合演習（グループ演習） ・サーバー仮想化環境の構築 ・ファイルサーバーの構築 ・DNSサーバーの構築 ・Webサーバーの構築 ・DHCPサーバーの構築 ・報告資料の作成	5. 総合演習（グループ演習） ・サーバー仮想化環境の構築 ・ファイルサーバーの構築 ・DNSサーバーの構築 ・Webサーバーの構築 ・DHCPサーバーの構築 ・報告資料の作成
10日目	5. 総合演習（グループ演習） ・サーバー仮想化環境の構築 ・ファイルサーバーの構築 ・DNSサーバーの構築 ・Webサーバーの構築 ・DHCPサーバーの構築 ・報告資料の作成	6. 成果発表（グループ演習） ・報告書作成 ・成果発表

# 新入社員のための システム構築トレーニング Java編 ープログラミングの基本から開発体験までー

## ■ 概要

Java の基本文法、オブジェクト指向プログラミングのスキル(クラスとオブジェクト、継承、ポリモフィズム、例外処理など)、標準ライブラリによって提供される機能や JDBC API の使用方法を、プログラミング実習を通して修得します。多数のプログラミング演習課題により個々のレベルに合わせたプログラミングスキルの定着を図ります。テスト用プログラム開発によるソフトウェアテスト演習を通して、ソフトウェアテストの目的と基本的な単体テスト技法を修得します。システム構築演習を通して、Java のシステム開発の一連の流れを理解します。

コースコード	FG970
学習形態と割合	Step1 講義50% 個人演習50% Step2 講義10% グループ演習90%
開催日程	5/7(木)～5/29(金)【17日間】
受講料	598,400円(税込) / 544,000円(税抜)

## ■ 到達目標

### 【STEP 1】 文法を中心としたプログラミングスキル修得

- Javaのクラス・メソッドを定義し、利用できる。
- クラスをインスタンス化し、利用できる。
- アクセス指定子を使って適切に情報隠蔽したクラスを定義できる。
- コンストラクタの役割や利点、定義ルールを理解し、オブジェクトの初期化に利用できる。
- サブクラスの利用がシステムの拡張性や再利用性を向上させることを理解し、その具体的なプログラムを作成できる。
- 標準ライブラリを利用したプログラムを作成できる。
- 発生した例外を捕捉し、対処するプログラムを作成できる。
- 例外を通知するメソッドを作成できる。
- JDBCを利用したプログラムを作成できる。
- テストの重要性を説明できる。
- 基本的なテストの種類について説明できる。
- テストケースを元に簡単なテストが実施できる。

### 【STEP 2】 ケーススタディ形式の開発演習

- 開発体験を通じて、システム開発の一連の流れを説明できる。
- 要件定義の目的を理解し、業務フロー図、機能一覧などの要件定義の主要な成果物を作成できる。
- 基本設計の目的を理解し、ユースケース図、画面遷移図、画面レイアウトなどの基本設計の主要な成果物を作成できる。
- オブジェクト指向設計の目的を理解し、設計モデルのクラス図、シーケンス図などのオブジェクト指向設計の主要な成果物を作成できる。
- オブジェクト設計に基づいた製造・デバックができる。
- テスト仕様書を作成し、テストを実施できる。

お申込みはこちら

■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30		9:30-12:30	13:30-17:30
1日目 STEP1	1. プログラムとは <ul style="list-style-type: none"> <li>Javaの特徴</li> <li>Javaプログラムの開発手順</li> </ul> 2. Javaプログラムの基本形 <ul style="list-style-type: none"> <li>Javaプログラムの基本構造</li> <li>変数とデータ型</li> </ul>	2. Javaプログラムの基本形 <ul style="list-style-type: none"> <li>配列の利用</li> <li>コマンドライン引数</li> </ul>	7日目 STEP1	11. Javaのライブラリ <ul style="list-style-type: none"> <li>パッケージとは</li> <li>標準ライブラリ</li> </ul>	11. Javaのライブラリ <ul style="list-style-type: none"> <li>java.langパッケージ</li> </ul> 12. コレクションフレームワーク <ul style="list-style-type: none"> <li>Collectionインタフェース</li> <li>リスト</li> </ul>
2日目 STEP1	3. 制御用構文 <ul style="list-style-type: none"> <li>制御構文</li> <li>分岐処理(if, switch-case)</li> <li>繰り返し処理(for, while)</li> </ul>	4. メソッド <ul style="list-style-type: none"> <li>メソッドの概要</li> <li>メソッドの定義と利用</li> </ul>	8日目 STEP1	12. コレクションフレームワーク <ul style="list-style-type: none"> <li>マップ</li> </ul> 13. JDBC概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>JDBCとは</li> <li>JDBC APIの概要</li> </ul>	13. JDBC概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>サンプルデータベースの構成</li> <li>MySQLの操作方法</li> </ul> 14. 基本的なデータベースの利用手順 <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な利用手順</li> <li>テーブルの参照</li> </ul>
3日目 STEP1	5. Javaの基本(復習) 6. クラスとオブジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>オブジェクト指向とは</li> </ul>	6. クラスとオブジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの定義</li> <li>オブジェクトの生成と利用</li> <li>コンストラクタ</li> </ul>	9日目 STEP1	14. 基本的なデータベースの利用手順 <ul style="list-style-type: none"> <li>テーブルの更新</li> <li>DAOパターン</li> </ul>	15. トランザクション <ul style="list-style-type: none"> <li>トランザクション概要</li> <li>コミット／ロールバック</li> </ul> 16. 開発ツール Eclipse <ul style="list-style-type: none"> <li>Eclipseの概要</li> <li>Eclipseの起動・停止</li> <li>Javaプログラムの作成</li> <li>デバッグ機能</li> </ul>
4日目 STEP1	6. クラスとオブジェクト <ul style="list-style-type: none"> <li>オーバーロード</li> <li>this</li> <li>カプセル化</li> <li>static</li> </ul>	7. 継承とインタフェース <ul style="list-style-type: none"> <li>継承</li> <li>オーバーライド</li> <li>super</li> </ul>		10日目 STEP1	17. Javaプログラミング演習 18. 修了テスト
5日目 STEP1	7. 継承とインタフェース <ul style="list-style-type: none"> <li>ポリモフィズム</li> <li>インタフェース</li> <li>抽象クラス</li> <li>クラスの修飾子</li> </ul>	8. 例外処理 <ul style="list-style-type: none"> <li>例外とは</li> <li>例外の種類</li> <li>try-catchによる例外処理</li> <li>例外を発生させるメソッド</li> </ul>	11日目 STEP1	19. テストの目的 <ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発とテスト</li> <li>テストのライフサイクル</li> </ul> 20. ホワイトボックステスト <ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボックステストとは</li> <li>制御フローダイアグラム</li> <li>制御フローテスト</li> </ul>	21. 境界値テスト <ul style="list-style-type: none"> <li>同値分割</li> <li>境界値分析</li> </ul>
6日目 STEP1	9. プログラミング演習	9. プログラミング演習			

■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
12日目 STEP2	22. 開発プロジェクト体験演習 ・プロジェクト基本計画 ・ケース理解	22. 開発プロジェクト体験演習 ・ケース理解 続き
13日目 STEP2	22. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計	22. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計 続き
14日目 STEP2	22. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計 続き	22. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラム設計
15日目 STEP2	22. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラム設計 続き ・プログラミング	22. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラミング 続き
16日目 STEP2	22. 開発プロジェクト体験演習 ・テストとレビュー 続き	22. 開発プロジェクト体験演習 ・テストとレビュー 続き
17日目 STEP2	23. 成果発表準備 ・プレゼンテーション資料作成 ・リハーサル	23. 成果発表

# 新入社員のための システム構築トレーニング C#編

## ープログラミングの基本から開発体験までー

### ■ 概要

変数やメソッド、制御構造などのC#の基本文法、オブジェクト指向プログラミングの特徴を活かした効率的なプログラミング技術を実習を通して修得し、簡単なWindowsアプリケーションを作成するためのスキルを修得します。豊富に用意したドリル式演習問題で、個々のレベルに合わせたプログラミングスキルの定着を図ります。Visual Studio が提供するテストツールを利用して、ソフトウェア品質を向上させるための方法を修得します。  
システム構築演習を通して、C#のシステム開発の一連の流れを理解します。

コースコード	FG971
学習形態と割合	Step1 講義50% 個人演習50% Step2 講義10% グループ演習90%
開催日程	5/7(木)～5/29(金)【17日間】
受講料	598,400円(税込) / 544,000円(税抜)

### ■ 到達目標

#### 【STEP 1】 文法を中心としたプログラミングスキル修得

- C#を使用して、基本的なWindowsアプリケーションが作成できる。
- 変数、定数、メソッド、条件構造、ループ構造を使用したコーディングができる。
- デバッグツールを使用して、効率よくデバッグできる。
- クラスを定義し、オブジェクトを生成することができる。
- クラスの継承を使用して、クラスの再利用ができる。
- 目的に応じて、適切なADO.NETオブジェクトを選択できる。
- テストの重要性を説明できる。
- 基本的なテストの種類について説明できる。
- テストケースを元に簡単なテストが実施できる。

#### 【STEP 2】 ケーススタディ形式の開発演習

- プログラム開発手順を理解し、設計仕様書からC#プログラムを作成できる。
- プロジェクトメンバーとコミュニケーションをとり、協力して開発することができる。

お申込みはこちら

■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30		9:30-12:30	13:30-17:30
1日目 STEP1	1. C#とは ・C#の特徴 2. C#の基本構文 ・C#基本構文	2. C#の基本構文 ・変数とデータ型 ・コンソール入出力	7日目 STEP1	9. .NET概説 ・.NET概説 10. Windowsアプリケーションの基礎 ・Windows フォームアプリケーション ・Windows フォームアプリケーションの作成手順 ・オブジェクト	10. Windowsアプリケーションの基礎 ・複数フォームの利用
2日目 STEP1	2. C#の基本構文 ・演算子 ・制御ステートメント	2. C#の基本構文 ・制御ステートメント ・文字列			
3日目 STEP1	3. プログラミング演習	3. プログラミング演習	8日目 STEP1	11. クラスライブラリの利用 ・クラスライブラリの利用設定 ・ファイルとディレクトリ ・マルチスレッド	11. クラスライブラリの利用 ・Windows アプリケーションでのマルチスレッド化 ・グラフィックス
4日目 STEP1	4. クラス ・オブジェクト指向プログラミングとは ・クラスの定義 ・メソッドの定義 ・名前空間	4. クラス ・オブジェクトの初期化 ・プロパティの定義 ・静的メンバーの定義 5. 継承 ・継承	9日目 STEP1	12. データベースの利用 ・ADO.NET概論 ・データプロバイダー概論 ・データベースとの接続	12. データベースの利用 ・データベースとの接続 ・クエリの実行
5日目 STEP1	5. 継承 ・多態性（ポリモフィズム） ・インターフェイス 6. クラスライブラリ ・クラスライブラリの全体像 ・例外処理	6. クラスライブラリ ・配列 ・ジェネリック ・null許容型 7. クラスに関する諸機能 ・デリゲート ・イベント ・インデクサー	10日目 STEP1	13. プログラミング演習	13. プログラミング演習
			11日目 STEP1	14. テストの目的 15. テストの種類とVisual Studio	16. Visual Studioによる単体テスト 17. ソフトウェアテスト演習
6日目 STEP1	8. プログラミング演習	8. プログラミング演習			



## ■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
<b>12日目 STEP2</b>	18. 開発プロジェクト体験演習 ・プロジェクト基本計画 ・ケース理解	18. 開発プロジェクト体験演習 ・ケース理解 続き
<b>13日目 STEP2</b>	18. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計	18. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計 続き
<b>14日目 STEP2</b>	18. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計 続き	18. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラム設計
<b>15日目 STEP2</b>	18. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラム設計 続き ・プログラミング	18. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラミング 続き
<b>16日目 STEP2</b>	18. 開発プロジェクト体験演習 ・テストとレビュー 続き	18. 開発プロジェクト体験演習 ・テストとレビュー 続き
<b>17日目 STEP2</b>	18. 成果発表準備 ・プレゼンテーション資料作成 ・リハーサル	18. 成果発表

# 新入社員のための システム構築トレーニング VB.NET 編

## －プログラミングの基本から開発体験まで－

### ■ 概要

変数やメソッド、制御構造などのVB.NETの基本文法、オブジェクト指向プログラミングの特徴を活かした効率的なプログラミング技術を実習を通して修得し、簡単なWindowsアプリケーションを作成するためのスキルを修得します。豊富に用意したドリル式演習問題で、個々のレベルに合わせたプログラミングスキルの定着を図ります。Visual Studio が提供するテストツールを利用して、ソフトウェア品質を向上させるための方法を修得します。システム構築演習を通して、VB.NETのシステム開発の一連の流れを理解します。

#### コースコード

FG972

#### 学習形態と割合

Step1 講義50% 個人演習50%  
Step2 講義10% グループ演習90%

#### 開催日程

5/7(木)～5/29(金) 【17日間】

#### 受講料

598,400円(税込) / 544,000円(税抜)

### ■ 到達目標

#### 【STEP 1】 文法を中心としたプログラミングスキル修得

- VB.NETを使用して、基本的なWindowsアプリケーションが作成できる。
- 変数、定数、メソッド、条件構造、ループ構造を使用したコーディングができる。
- デバッグツールを使用して、効率よくデバッグできる。
- クラスを定義し、オブジェクトを生成することができる。
- クラスの継承を使用して、クラスの再利用ができる。
- 目的に応じて、適切なADO.NETオブジェクトを選択できる。
- テストの重要性を説明できる。
- 基本的なテストの種類について説明できる。
- テストケースを元に簡単なテストが実施できる。

#### 【STEP 2】 ケーススタディ形式の開発演習

- プログラム開発手順を理解し、設計仕様書からVB.NETプログラムを作成できる。
- プロジェクトメンバーとコミュニケーションをとり、協力して開発することができる。

[お申込みはこちら](#)

■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30		9:30-12:30	13:30-17:30
1日目 STEP1	1. Visual Basic とは ・ Visual Basic の概要 2. Visual Basic の基本構文 ・ Visual Basic 基本構文	2. Visual Basic の基本構文 ・ 変数とデータ型 ・ コンソール入出力	7日目 STEP1	9. .NET ・ .NET 概説 10. Windowsアプリケーションの基礎 ・ Windows フォームアプリケーション ・ Windows フォームアプリケーション の作成手順 ・ オブジェクト	10. Windowsアプリケーションの基礎 ・ 複数フォームの利用
2日目 STEP1	2. Visual Basic の基本構文 ・ 演算子 ・ 制御ステートメント	2. Visual Basic の基本構文 ・ 制御ステートメント ・ 文字列	8日目 STEP1	11. クラスライブラリの利用 ・ クラスライブラリの利用設定 ・ ファイルとディレクトリ ・ マルチスレッド	11. クラスライブラリの利用 ・ Windows アプリケーションでの マルチスレッド化 ・ グラフィックス
3日目 STEP1	3. プログラミング演習	3. プログラミング演習	9日目 STEP1	12. データベースの利用 ・ ADO.NET ・ データプロバイダー概説 ・ データベースとの接続	12. データベースの利用 ・ データベースとの接続 ・ クエリの実行
4日目 STEP1	4. クラス ・ オブジェクト指向プログラミング とは ・ クラス ・ メソッド ・ 名前空間	4. クラス ・ オブジェクトの初期化 ・ プロパティ ・ 静的メンバ 5. 継承 ・ 継承	10日目 STEP1	13. プログラミング演習	13. プログラミング演習
5日目 STEP1	5. 継承 ・ 多態性（ポリモフィズム） ・ インターフェイス 6. クラスライブラリ ・ クラスライブラリの全体像 ・ 例外処理	6. クラスライブラリ ・ 配列 ・ ジェネリック ・ null許容型 7. クラスに関する諸機能 ・ デリゲート ・ イベント ・ デフォルトプロパティ	11日目 STEP1	14. テストの目的 ・ テストの種類とVisual Studio 15. Visual Studioによる単体テスト ・ Visual Studioによる単体テスト ・ 単体テストの作成 ・ テストの実行と結果の表示	16. プログラミング演習
6日目 STEP1	8. プログラミング演習	8. プログラミング演習			

■ カリキュラム

	9:30-12:30	13:30-17:30
12日目 STEP2	18. 開発プロジェクト体験演習 ・プロジェクト基本計画 ・ケース理解	18. 開発プロジェクト体験演習 ・ケース理解 続き
13日目 STEP2	18. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計	18. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計 続き
14日目 STEP2	18. 開発プロジェクト体験演習 ・内部設計 続き	18. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラム設計
15日目 STEP2	18. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラム設計 続き ・プログラミング	18. 開発プロジェクト体験演習 ・プログラミング 続き
16日目 STEP2	18. 開発プロジェクト体験演習 ・テストとレビュー 続き	18. 開発プロジェクト体験演習 ・テストとレビュー 続き
17日目 STEP2	18. 成果発表準備 ・プレゼンテーション資料作成 ・リハーサル	18. 成果発表

## 5. 新入社員専用コースのお申込み方法

# お申込みまでの主な流れ

新入社員専用コースは、  
当社Webサイト新入社員研修ページからお申し込みください。  
なお1コース1名様からお申し込み可能です。

## お申込みの流れ

[https://www.neclearning.jp/training/newcomer/s\\_index.html](https://www.neclearning.jp/training/newcomer/s_index.html)



- ① 本資料ならびにWebサイトよりご希望のコースをお選びください。
  - ② 申し込みたいコースのコース概要ページにて、申込むスケジュールの「カートに追加」ボタンをクリック(複数コースをお申し込みいただく場合は、続けて他のコースをお選びください)
  - ③ すべての商品をカートに入れたら「申込手続きへ」ボタンをクリック
  - ④ Web申し込みにあたっての注意事項をご確認・ご同意のうえ、「申込へ進む」ボタンをクリック
  - ⑤ すべての申込情報を入力したら、入力内容をご確認のうえ、「この内容で申し込む」ボタンをクリック
  - ⑥ 申し込み完了と同時に申込確認メールが自動送信されます。
- ※ お申し込みは先着順にて受付いたします。締め切り前でも、定員に達した場合はお申し込みを締め切る場合がございます。

お申込みを受け付け後、原則として3営業日以内に申込結果通知をお送りします。

※ お申し込み後、3営業日を経過しても申込結果通知が届かない場合は、お手数ですがNECビジネスインテリジェンス研修申込センターまでお問い合わせください。

※ 年末年始などには受付を休止する場合がございます。

2026年3月下旬以降に、受講案内をメールにてまとめて送付します。

受講案内がお手元に届きましたら内容をご確認いただき、該当の受講者に配布をお願いします。

※ 万が一、受講案内が到着しない場合は、お手数ですがNECビジネスインテリジェンス研修申込センターまでお問い合わせください。

研修当日は、受講案内にしたがい遠隔ライブ研修会場にアクセスし、ご受講ください。

請求書は、研修終了後に送付いたしますので、お支払期日までにお振り込みください。

## お申込みに関するお問い合わせ

NECビジネスインテリジェンス 人材開発サービス統括部 研修申込センター

URL: <https://www.neclearning.jp/>

E-mail: [contact@learning.jp.nec.com](mailto:contact@learning.jp.nec.com)

FAX: 03(4330)7550

※本資料に記載されている社名またはシステム・製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

# NEC

\Orchestrating a brighter world